

ノーサイドの精神

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、日本開催のラグビーワールドカップが始まりました。前回のイングランド大会では南アフリカに勝利するという歴史的快挙をはじめ、3勝し、大いに盛り上がりました。今回は自国開催でもあり、9月20日から11月2日までの44日間に48試合が開催され、各地で盛り上がること間違いありません。



代表取締役社長 吉田治伸

ラグビーというスポーツは、100キロを超える男たちの体を張ったぶつかり合いが醍醐味ではありますが、独自の文化が「ノーサイドの精神」です。戦い終わったら両チームのサイドがなくなって同じ仲間になるというのがノーサイドです。観客席にも熱狂的なサポーターが集まるサッカーのゴール裏のような聖地はなく、混ざり合っ

て座り、良いプレーにはたとえ相手チームでも拍手が起こる。敵対するチームを応援するサポーター同士でも、試合後は肩を組んで健闘をたたえ合うのがラグビーの精神なのであります。

勝ち負けを乗り越えて、互いの健闘をたたえ合うラグビーの精神は、多様性が進む日本には、今後ますます必要とされるのではないのでしょうか？

11月2日まで、どっぷりとラグビーにつかってみようと思っています。

皆さんも、この機会に是非ラグビーに接してみてもは、どうですか？